

星空観察

光の少ない屋上で、星が輝く夜空を観察しましょう。プラネタウムの後に行えば、さらに効果的。



ねらいとして考えられるもの

- ・自然に親しむ。
- ・本物の星の輝きを観察する。
- ・地球が宇宙にあることを知る。

可能な活動場所

- ・野外炊事場

所員の指導	対象	月	人数	所要時間	費用
指導なし	3歳以上	通年	5~100人*1	1時間	無料

団体が準備するもの

懐中電灯、防寒具、医薬品、星空早見盤

げんきプラザが準備するもの

双眼鏡（10）、星座早見盤（30）：貸出可

実施要領

導入

- ① 動機づけ（下記「指導のポイント・展開のアイディア」参照）
晴れた夜には空をのぞいてみましょう。
昼間は太陽の光に邪魔されて見えなかった宇宙の世界をのぞくことができます。
- ② 安全上の注意（下記「留意点」参照）

準備（1グループ 6人程度）

- ① バディを組む
- ② 星座早見盤の使い方を説明する。

実施

- ① 北斗七星かカシオペア座を用いて方角の確認をする。（北極星を探す）
- ② その日の20時を目安に注目される星空紹介をする。
- ③ 星空を眺めながら、季節に応じたギリシャ神話を読む
- ④ 宇宙の話をする。

まとめ

- ・ふりかえり
- ・下記「指導のポイント・展開のアイディア」参照

留意点

- ① 暗いので、足元に十分注意する。
- ② 暗さが怖いので騒ぎがちだが、静かに落ち着いて歩けるように導入で静かな雰囲気を作る。
- ③ 懐中電灯は足元のみ照らす。
- ④ バディを組み、人数確認をする。

指導のポイント・展開のアイディア

- ・人間は宇宙の不思議の中に生きています。地球は宇宙船地球号です。私たちは限られた資源の中に生きていることを意識し、地球や私たちの生き方を大切にしよう。

*1 60人を超える場合は、2班に分けて実施したり、交代で実施していただく場合もあります。